

10N020_乳_HP-wPTX

Pertuzumab (Day 1) + Trastuzumab (Day 1) + PTX (Day 1・8・15) 4週毎

◆ _____月_____日(Day1)から_____コース実施。 (外来で実施 ・ 入院で実施)

◆アルコールに対する過敏症はありませんか? → (有 , 無)

Rp. 商品名	用量 [基準量]	投与方法	Day 0	1	2	3	4	5	6	7
1 生食注 (50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●						
2 生食注 (250mL) パージェタ静注	1 袋 _____ mg [初回 840mg/body] _____ mg [2回目以降 420mg/body]	div / ※1 1hr		○						
3 生食注 (50mL)	1 瓶	div / ※2 1hr		●						
4 生食注 (250mL) トラスツズマブBS点滴静注用	1 袋 _____ mg [初回 8mg/kg] _____ mg [2回目以降 6mg/kg]	div / ※3 1.5hr		○						
5 生食注 (50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●						
6 生食注 (100mL) デカドロン注射液1.65mg ガスター注射液20mg ボラミン注5mg	1 瓶 5 A (初回) ※4 1 A 1 A	div / 15min		●			● Day 8 / Day 15			
7 生食注 (50mL)	1 瓶	div / 30min		●			● Day 8 / Day 15			
8 生食注 (250mL) パクリタキセル注	1 袋 _____ mg [80mg/m2]	div / 1hr		○			○ Day 8 / Day 15			
9 生食注 (50mL)	1 瓶	div / フラッシュ		●			● Day 8 / Day 15			

※パクリタキセル注投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。
また、点滴用セット等で溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。

※1 パージェタ注は初回60分で投与。忍容性が良好であれば30分で投与可。

※2 パージェタ注後の生食注は初回60分で投与。以後、医師の判断で30分に短縮可。

※3 トラスツズマブBS注は忍容性良好であれば、初回(1.5hr)、2回目(1hr)、3回目以降(30min)で投与可。

※4 デカドロン注は医師の判断にて減量。(最低1Aは必要。)